



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 世紀東急工業株式会社
 コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 川野 隆紀

TEL 03- 6672- 9421

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	59,292	16.4	4,631	45.3	4,538	42.2	3,470	15.7
2020年3月期第3四半期	50,959	7.5	3,188	6.8	3,191	6.8	4,115	59.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,524百万円 (16.7%) 2020年3月期第3四半期 4,231百万円 (53.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.05	
2020年3月期第3四半期	102.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	78,182	38,303	49.0	949.36
2020年3月期	74,656	36,632	49.1	909.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,303百万円 2020年3月期 36,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		47.00	47.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,600	12.7	7,700	29.2	7,600	26.5	5,800	11.4	143.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	40,414,407 株	2020年3月期	40,414,407 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	67,470 株	2020年3月期	119,939 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	40,326,002 株	2020年3月期3Q	40,304,898 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,800	13.0	7,200	29.8	5,400	△12.1	133.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
四半期個別受注の概況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、依然として厳しい状況が続きました。

道路建設業界におきましては、防災・減災、国土強靱化対策等により公共投資は底堅く推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により民間設備投資が減少傾向となるなど、引き続き予断を許さない事業環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、計画最終年度となる「中期経営計画（2018-2020年度）」に基づき、中核事業の競争力強化に注力するとともに、将来における事業環境の変化に対しても迅速、的確、柔軟に対応できる強固な経営基盤の構築に向け、各種施策を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高（製品売上高および不動産事業等売上高を含む）は662億23百万円（前年同期比16.2%増）、売上高は592億92百万円（前年同期比16.4%増）となりました。また、損益面につきましては、経常利益は45億38百万円（前年同期比42.2%増）となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いミャンマー連邦共和国の連結子会社において生産設備等の減損損失5億76百万円を計上したことに加え、前年同期に特別利益として独占禁止法関連損失引当金戻入額14億48百万円を計上していたことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年実績を下回る34億70百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

なお、当社グループにおける建設事業および舗装資材製造販売事業におきましては、第1四半期から第3四半期に比べ、第4四半期の売上が占める割合が相対的に高く、一方、事業運営にかかる費用については年間を通じて恒常的に発生することから、当社グループの売上および損益の状況は季節的に大きく変動いたします。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し35億26百万円増加の781億82百万円となりました。売掛金や完成工事未収入金が減少した一方、現金預金や未成工事支出金が増加したことなどにより流動資産は32億94百万円の増加となり、また、アスファルトプラントの設備更新等による有形固定資産の増加などにより固定資産は2億31百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し18億55百万円増加の398億78百万円となりました。仕入債務や未成工事受入金が増加したことなどにより流動負債は25億円の減少となりましたが、長期借入金が増加したことなどにより固定負債は43億55百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、期末配当金の支払により18億93百万円減少いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益34億70百万円の計上や退職給付に係る調整累計額の変動などにより、前連結会計年度末と比較し16億70百万円増加の383億3百万円となりました。この結果、自己資本比率は49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の経営成績等を勘案して前回（2020年11月9日）公表の予想数値を修正しており、通期の連結業績につきましては、売上高886億円、営業利益77億円、経常利益76億円、親会社株主に帰属する当期純利益58億円をそれぞれ見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,169	19,097
受取手形・完成工事未収入金等	26,004	23,482
未成工事支出金	6,007	7,215
材料貯蔵品	310	372
その他	2,560	2,185
貸倒引当金	-	△6
流動資産合計	49,051	52,346
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,774	8,955
機械、運搬具及び工具器具備品	19,358	20,044
土地	14,195	14,141
建設仮勘定	751	1,581
減価償却累計額	△20,275	△21,448
有形固定資産合計	22,805	23,273
無形固定資産	463	325
投資その他の資産		
その他	2,335	2,236
貸倒引当金	-	△0
投資その他の資産合計	2,335	2,236
固定資産合計	25,604	25,835
資産合計	74,656	78,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,632	22,163
短期借入金	472	107
未払法人税等	558	282
未成工事受入金	5,216	4,694
完成工事補償引当金	15	16
工事損失引当金	44	36
賞与引当金	1,267	733
その他	2,701	3,375
流動負債合計	33,908	31,408
固定負債		
長期借入金	300	5,000
退職給付に係る負債	3,742	3,322
その他	72	148
固定負債合計	4,114	8,470
負債合計	38,023	39,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	510	519
利益剰余金	35,480	37,056
自己株式	△71	△40
株主資本合計	37,919	39,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	2
為替換算調整勘定	△16	△138
退職給付に係る調整累計額	△1,267	△1,096
その他の包括利益累計額合計	△1,286	△1,232
純資産合計	36,632	38,303
負債純資産合計	74,656	78,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	50,959	59,292
売上原価	44,106	50,464
売上総利益	6,853	8,827
販売費及び一般管理費	3,665	4,196
営業利益	3,188	4,631
営業外収益		
受取配当金	4	4
受取賃貸料	18	18
業務委託料	14	11
雑収入	15	36
営業外収益合計	52	70
営業外費用		
支払利息	7	2
支払保証料	19	29
シンジケートローン組成費用	-	96
雑支出	22	34
営業外費用合計	49	163
経常利益	3,191	4,538
特別利益		
固定資産売却益	4	88
投資有価証券売却益	-	0
受取補償金	9	-
負ののれん発生益	83	-
独占禁止法関連損失引当金戻入額	1,448	-
特別利益合計	1,546	88
特別損失		
固定資産売却損	48	1
固定資産除却損	63	11
減損損失	82	576
特別損失合計	194	590
税金等調整前四半期純利益	4,543	4,036
法人税、住民税及び事業税	427	566
四半期純利益	4,115	3,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,115	3,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,115	3,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	5
為替換算調整勘定	△31	△122
退職給付に係る調整額	145	171
その他の包括利益合計	115	54
四半期包括利益	4,231	3,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,231	3,524
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)においては、新型コロナウイルス感染症による今後の影響は軽微であるとの仮定を置いて会計上の見積りを行っておりました。

しかしながら、ミャンマー連邦共和国における連結子会社について、同国内での新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業環境は不透明な状況が続いております。このような状況を踏まえ、ミャンマー連邦共和国の新型コロナウイルス感染症の収束時期に関しては、予測困難な状況にありますが、2021年3月期末時点においては正常化までには至らず、2021年度以降にかけて段階的に回復していくものと仮定を変更し、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

その結果、当社の連結子会社であるSEIKITOKYU MYANMAR ROAD COMPANY LIMITEDの生産設備等について、576百万円の減損損失を計上しております。なお、日本国内における新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
	金額	比率%
2021年3月期第3四半期	62,236百万円	17.1%
2020年3月期第3四半期	53,153百万円	2.8%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区 分		前第3四半期 (2020年3月期 第3四半期)		当第3四半期 (2021年3月期 第3四半期)		増 減		前 期 (2020年3月期)	
		金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%
		受注高	建設部門						
国内官公庁	17,215		32.4	19,899	32.0	2,684	15.6	34,771	42.4
国内民間	24,039		45.2	30,567	49.1	6,527	27.2	30,730	37.5
計	41,255		77.6	50,467	81.1	9,211	22.3	65,502	79.9
製品部門等	11,898		22.4	11,769	18.9	△128	△1.1	16,432	20.1
	合 計	53,153	100.0	62,236	100.0	9,083	17.1	81,934	100.0